

はまごう小だより

自分が大好き！あなたが大好き！！

伊勢市立浜郷小学
令和 3年 3月 25日
発行者 平生 理恵
第 28 号

72 人の巣立ち！ ご卒業おめでとうございます！！

浜郷小学校の桜の木も開花を始め、いよいよ春を迎えようとしています。

令和3年3月19日、72人の卒業生が浜郷小学校を巣立っていきました。桜のつぼみが膨らみ初め頃、令和2年度伊勢市立浜郷小学校の卒業証書授与式を挙行することができました。昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のため、式には保護者の方々と先生たちだけの参加となりましたが、在校生の児童たちは会場の壁面に掲示してあるメッセージに姿を変えて卒業生の姿を見つめていました。

5年生を中心に在校生みんなで華やかに飾り付けた式場で、力強く決意を述べて卒業証書を受け取る卒業生の表情は、中学校生活への希望、小学校生活6年間の成長が感じられ、とても輝いて見えました。しかし、卒業生の成長を見守り続けてくださった地域の方々に、その立派な姿で感謝の気持ちをお伝え出来なかったことがとても残念でした。

校長の式辞では、コロナ禍の中新しい生活様式で過ごさなければならなかったこの1年間、最高学年としての自覚と責任を持って下級生とかかわってくれた事を讃えました。卒業生の姿は、下級生の目には確実にあこがれの存在として映っていたはずです。

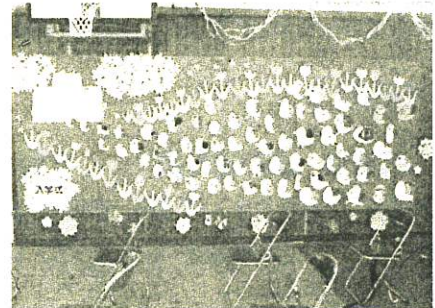
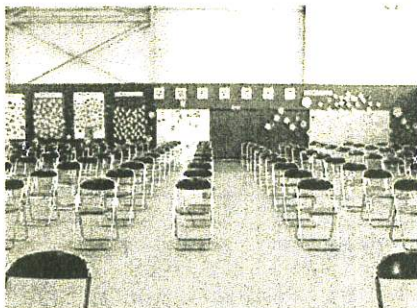
卒業の門出にあたり、私から卒業生に、2つの“大切にしてほしいことを話しました。”

1つは「自分らしさを大切にする」ということです。金子みすゞという詩人が作った『私と小鳥と鈴と』という詩の朗読をし、誰もが一人ひとり違った良さを持っているということを伝えました。

もう一つは「大きな夢を持つ」ということです。夢は願うことから始まります。その夢を叶えるために精一杯の努力をすることが必要となります。その夢が叶えられた時、大きな自信が生まれ、また一回り大きくなった自分に出会うことができるはずです。たとえその夢がかなえられなかったことがあったとしても、その努力の過程で培った力が身につけているのです。是非、胸を張って次の一歩を踏み出してほしいと思います。

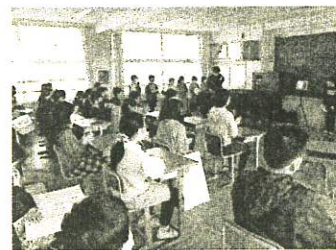
卒業生代表の別れの言葉のあと、『旅立ちの日に』のピアノ伴奏が流れました。感染症予防のため合唱はしないこととなっていたのですが、深い思いが込められた、遠慮がちな歌声が響きました。小さな歌声でしたが、だからこそなお卒業生の強い思いが伝わって、胸が熱くなりました。

卒業した子どもたちには、4月から始まる中学校生活を元気に笑顔で、たくましく切り拓いていってくれることを期待しています。そして、次に会う時もきっと笑顔であることを信じています。



令和3年度前期児童会役員選挙を行いました。

卒業式を前に、3月15日（月）令和3年度前期児童会役員選挙の立会演説会及び投票を行いました。今回も体育館で行うのではなく、子ども達は音楽室を会場とした立会演説会をオンラインで視聴し、投票を行いました。私は音楽室においてライブで演説を聞かせてもらいましたが、どの立候補者の演説も、本当に浜郷小学校をより良い学校にしていきたいという熱意が感じられ、思わず聞き入ってしまいました。今までの先輩方の背中を見て学び、「自分もあんな風に学校のリーダーとなって、自分たちで学校を動かしていきたい！」と思って立候補してくれたのです。私は、どの子が当選しても、安心して学校を任せられる！と確信しました。そして、その後、各教室で投票が行われました。令和3年度の前期児童会を運営してくれることになった本部役員の子供達は、また改めて来年度の学校だよりで紹介します。



1年生から5年生全員の進級を認めました。

本日、令和2年度の修了式を行いました。4月に新年度が始まったかと思ったとたん、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、突然の臨時休業となってしまいました。子ども達と再会できたのは5月末でした。学校では新しい生活様式が始まり、これまでとは違うことに取り組むことが沢山ありました。運動場の遊具はなかなか使用できず、教室でも密を避けるために机と机の間隔も広くしなければなりません。大きな声を出すことすら、遠慮しなければならないような状態でした。命を守るためのこうした取り組みは、子ども達にとってはさぞかし窮屈なものであったらと思います。けれど、それでも子ども達は毎日元気に過ごしてくれていました。何でも中止にしてしまうのではなく、“できることをできるように！”を合言葉に、1年間みんなで頑張ってきました。

今年度前期の始業式で、子ども達に、一人ひとりがさらに成長するために、そして、浜郷小学校がもっとステキな学校になるために、大切にしてほしいことを3つ話しました。1つ目は、「心を込めて挨拶をする」ということ、2つ目は、「人の話をきちんと聞く」ということ、3つ目は、「自分の命も人の命も大切にすること」でした。そして、そのことを今日の修了式の中でもあらためて話しました。挨拶は人と人をつなぐためにとても大切なものです。“おはようございます！”“ありがとうございます！”何でもないような一言かもしれませんが、これらの言葉は人の心を温かくする魔法の言葉だと思います。是非これからも心を込めていろいろな挨拶を交わしていきましょう。また、人の話をきちんと聞くことは、相手を大切にすることです。それは3つ目の命を大切にすることにもつながります。浜郷小学校の子ども達には、自分も相手も大切に、学校だよりのサブタイトルにもなっている『自分が大好き！あなたが大好き！！』な子でいて欲しいのです。

この1年間、子ども達はどの子も自分の持てる力を最大限に生かし、本当によく頑張りました。事前に見せてもらった通知表には、どの担任からも子ども達の成長を喜ぶ言葉が溢れていました。子どもたちがお家に帰りましたら、どうかしっかりと褒めてあげてください。その頑張りの証として、1年生から5年生全員の進級を認めます。みなさん、おめでとうございます。

《お礼》

卒業式・修了式も終了し、令和2年度の学校行事も無事に終わることができました。保護者の皆様、地域の皆様には、浜郷小学校の教育に対しまして、ご理解ご支援をいただき、誠にありがとうございました。来年度も引き続き、お力添えをいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

浜郷小学校長 平生 理恵